



土浦労働基準監督署長が文書要請及びパトロールを実施 ～ 茨城県内での死亡災害多発を受けて ～

令和4年3月11日



右：日立建機株式会社人財本部山根安全衛生部長
左：熊岡土浦労働基準監督署長

日立建機株式会社土浦工場は、中小型油圧ショベルを製造する工場で、女性や高齢労働者が安心して働くことができるよう生産工程の自動化、省力化に積極的に取り組んでおり、表示類を充実させるなど、「見える」安全活動にも積極的な対策を講じています。

監督署からは、引き続き安全管理や健康管理など総合的な取組を続け、死亡災害ゼロを目指して頂くよう要請しました。

土浦労働基準監督署(署長 熊岡秀織)は、茨城県内で多発する死亡災害の発生(令和4年2月末で6人)を受けて、管内の災害防止団体及び工業団地に対し、文書要請を実施しました。併せて、神立地区工業協議会安全衛生部会の会長会社である日立建機株式会社土浦工場に赴き、監督署長が安全パトロールを実施し、安全作業の徹底を呼びかけました。



組立ラインの説明を受ける熊岡署長

土浦労働基準監督署管内の令和3年の休業4日以上労働災害は、令和4年2月末の速報値ながら、全産業で708人(前年比+9.3%)となり、残念ながら過去30年で最悪となりました。また、本年2月にはプレス機械にはさまれる死亡災害も発生しています。

関係者の皆様においては、死亡災害に直結する墜落災害、交通事故、はさまれ災害の危険箇所を再確認し、引き続き安全対策の徹底をお願いします。

【担当部署】土浦労働基準監督署

安全衛生課

電話：029-882-7021



キズの有無が仕上がりにもどのように影響するか「見える」化して教育に活用